
プレスリリース

2023 年 5 月 15 日午前 6 時 (ロンドン)

予想を上回る需要の伸びが制約された供給を上回るため、2023 年のプラチナ需給予想を 31 トン不足に修正

- 2023 年プラチナ需給予想は、需要が前年比 28%増、供給が同 1%減、不足は 77%増の 31 トンに上方修正
- 第 1 四半期の予想を上回る好調な投資需要が通期予想を 13 トンに押し上げ
- 中国におけるガラス生産能力の拡大により、工業需要は 17%増加、過去最高水準に達する勢い
- 2023 年も自動車関連の旺盛なプラチナ需要は続いており、一台あたりの使用量の増加とパラジウム代替の拡大を背景に 12%増加

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル- WPIC® - は本日、2023 年第 1 四半期の *Platinum Quarterly* を発表し、2023 年の予想を修正しました。

2023 年第 1 四半期の世界のプラチナ需要は、自動車セクターと工業セクターにおける需要成長の力強いモメンタムに加え、投資需要も増加したため、28% (14 トン) 急増しました。第 1 四半期の精錬プラチナ生産の供給減 (前年比 8%減、-3 トン)、自動車触媒のリサイクルの減少 (同-15%、-2 トン)、宝飾品リサイクルの減少 (同-3%、-0.1 トン) と合わせると、市場は 2021 年第 2 四半期以来初めて 12 トンの不足を記録しました。

これらの出来事を受けて、2023 年通期の不足予想は 31 トンに大幅に上方修正され、3 か月前の予想値に対し、77%増加しました。これは、総供給が低調だった 2022 年水準を 1%下回る 224 トンに減少し (-2 トン)、需要は当初予想を上回る前年比 28%増加して 254 トン (+55 トン) になるという予想を反映しています。

投資需要は 12 トン超に急増

2023 年第 1 四半期は、世界的な不確実性の上昇、プラチナに対する旺盛な需要成長、鉱山供給のリスクに対する懸念によって、投資家の関心が急激に高まりました。2023 年第 1 四半期の地金およびコイン投資は、日本における顕著な回復がけん引する形で前年比 71%急増し、2021 年第 3 四半期以来の高水準である 3 トン (+1 トン) となりました。今年度はこのトレ

ンドが継続する見通しで、79%の増加 (+6 トン) を予想しています。一方で、2023 年第 1 四半期のプラチナ ETF の純保有高は 1 トン増加しました。南アフリカのファンドがパラジウム鉱山株よりプラチナ ETF の保有を再び選好したため、過去 6 四半期の売り越しが反転しました。このトレンドも 2023 年に継続すると予想されています。その結果、2023 年の純投資需要は 13 トンとなり、2022 年から 33 トン変化しました。

2023 年の工業需要は、過去最高となる見通し

2023 年第 1 四半期の工業用プラチナ需要は、中国におけるパラキシレン生産能力の拡大により、化学品需要が 108%成長 (+4 トン) したことによって、8%増加 (+1 トン) しました。同様に、通期ベースでは、中国における LCD ガラス生産能力の拡大が日本における閉鎖を相殺し、プラチナに対するガラス需要は前年比 76%増加し (+10 トン)、23 トンになる見通し。医療セクター (+3%、+0.3 トン) およびその他の工業セクター (+4%、+0.7 トン) からの増加分と合わせ、2023 年は工業需要が前年比 17% (+12 トン) の 82 トンとなり、過去最高となる見通し。

マクロ経済の見通しは低調でも、プラチナ自動車需要は増加

2023 年第 1 四半期の自動車需要は 9%増 (+2 トン) の 25 トンとなりました。この一部は、自動車生産の増加によるものですが、自動車 1 台あたりのプラチナ使用量が増加したことが増加の主因です。通期ベースでは、2023 年のグローバル自動車需要は、いくつかの要因によって、12%増の 101 トン (前年比+11 トン) となる見通し。まず、2023 年は大型車両の生産が 6%増加し、中国生産は 26%も急増すると予想されています。第 2 に、特に中国における排出規制が厳格化された結果、特に HDV や自動車以外の車両の一台あたり使用量が増加します。最後に、ガソリン後処理システムにおけるパラジウム代替用のプラチナの成長は、プラチナの消費をさらに押し上げるでしょう。重要なことは、これは 2023 年におけるパラジウム代替予想がさらに上方修正され、19 トンとなることです。

総供給は 2023 年も低迷

2023 年第 1 四半期の精錬鉱山生産は、前年比 8%減少 (-3 トン)、2022 年第 4 四半期比で 11%減少 (-5 トン) しました。ロシアにおける増加は、南アフリカにおける生産の減少を相殺できませんでした。南アフリカにおける生産は、精錬所のメンテナンスと同国の継続的な電力不足が生産にとって打撃となったため、前年比 14%減少 (-4 トン) しました。南アフリカにおける生産減が、ジンバブエおよび北米における増加に一部相殺され、プラチナの鉱山供給は 2023 年にやや (1%) 減少し、171 トンになると予想されていますが、南アフリカの供給の不確実性はまだ残っています。

2023 年第 1 四半期の世界のプラチナリサイクルは依然として低調で、自動車の新規販売台数が減少した結果、製品寿命を終えた自動車の台数が減少したため、前年比 12%減 (-2 トン) の 13 トンとなりました。一方、北米における規制が自動車触媒の窃盗を抑制することを目指したことも、リサイクル量を抑制しました。どちらの問題も、2023 年末まで続く可能性が高

く、通期のプラチナリサイクル供給は 1%減 (-0.3 トン) の 52 トンになると予想されています。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル CEO、Trevor Raymond は、以下のように述べました。「マクロの観点からみると、経済と金利環境の不確実性、銀行セクターの混乱、インフレの逆風、世界的なエネルギー危機などにより、2023 年は困難な年になると予想されます。こうした逆境の中、プラチナは常識に反し、大幅な不足が持続すると予想されています。重要なことは、プラチナの需要が 2023 年に 28%増加すると予想されている主因は、十分に下方リスクが保護されている分野からであるということです。自動車用途におけるパラジウム代替用のプラチナ需要は継続していることや、中国ではガラスと化学品の生産能力の増強が既に計画されていることはその例で、いずれも設備投資需要の増加によって支えられています。」

「2023 年第 1 四半期は、これらのコア要因が需要を増加させている証左がみられました。主要生産国である南アフリカにおける電力不足が悪化したことにより、不足分は拡大しました。鉱山供給が懸念される中で、プラチナに対する旺盛な自動車および工業需要に加え、現物投資需要も急増したため、プラチナの需給ギャップが拡大しました。2023 年第 1 四半期の動向を反映して、2023 年の不足予想は 100 万オンス近く修正されたため、地金・コインおよび現物の裏付けがある ETF に対する投資家の関心がさらに高まる可能性があります。」

「プラチナと水素経済の関連に関心が高まっており、世界中の投資家によって広く知られるようになってきました。プラチナが欧州のエネルギー保障のためのグリーン水素を生産する電気分解に使用され、グリーン水素の生産を押し上げることで、世界の脱炭素化におけるプラチナの役割が高まります。水素関連のプラチナ需要は中期的に大きく飛躍すると予想されています。水素関連需要が大きくなるにつれ、脱炭素ジャーニーへの投資を検討する投資家にとって、プラチナがその代理投資手段となる可能性があります。」

プラチナ需給バランス (トン)	2019	2020	2021	2022年予想	2022年/2021年成長率 (%)	2023年予想/2022年成長率 (%)	Q1 2022	Q4 2022	Q1 2023	
供給										
製錬高	189	155	196	172	171	-12%	0%	40	41	37
南アフリカ	136	103	146	122	120	-16%	-1%	27	29	24
ジンバブエ	14	14	15	15	16	-1%	5%	4	4	4
北米	11	10	8	8	9	-4%	8%	2	2	2
ロシア	22	22	20	21	20	2%	-2%	5	5	6
その他	5	6	6	6	6	-3%	2%	2	2	1
生産者製品在庫における増減 (+/-)	+0	-3	-3	+1	+0	N/A	-1	+1	+1	+1
鉱山からの総供給量	189	153	193	173	171	-10%	-1%	40	42	37
リサイクル										
自動車触媒	49	47	49	39	39	-21%	-1%	11	9	9
宝飾品	15	13	13	12	12	-12%	-1%	3	3	3
工業	2	2	2	2	2	3%	2%	1	1	1
総供給量	255	215	258	226	224	-12%	-1%	55	55	50
需要										
自動車	87	72	79	90	101	13%	12%	23	24	25
自動車触媒	87	72	79	90	101	13%	12%	23	24	25
ノンロード	†	†	†	†	†	N/A	N/A	†	†	†
宝飾品	65	57	61	59	58	-3%	-2%	15	14	14
工業	70	63	79	70	82	-12%	17%	16	17	18
化学	25	19	22	21	23	-4%	9%	4	8	7
石油	7	3	5	6	5	14%	-11%	1	2	1
電気	4	4	4	3	3	-21%	-8%	1	1	1
ガラス	7	12	22	13	23	-41%	76%	4	-1	2
医療	9	8	8	9	9	3%	3%	2	2	2
その他	18	16	17	18	18	5%	4%	5	4	4
投資	38	48	-2	-20	13	N/A	N/A	-5	-2	5
地金、コインの増減	8	18	10	7	13	-31%	79%	2	0	3
ETF保有高の増減	31	16	-7	-17	1	N/A	N/A	-5	-2	1
取引所在庫の増減	-1	14	-4	-10	0	N/A	N/A	-2	0	1
総需要	261	240	217	199	254	-8%	28%	49	53	62
残余量	-7	-25	40	27	-31	-34%	N/A	6	2	-12
地上在庫	107**	82	122	148	118	22%	-21%			

出典: Metals Focus 2019 - 2023

注記:

- ** 2018年12月31日現在の地上在庫 3,650 koz (Metals Focus)
- † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

-ENDS-

編集者への注記:

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。プラチナ金属市場の権威ある独立機関である WPIC への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル・WPIC®) について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC®) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014 年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sedibelo Platinum (セディベロプラチナ)、Tharisa です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

WPIC 事務局住所：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場の調査に特化し、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量 (精製済みオンス) の 73%~77% は、主に鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 31%から 46%の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 30%となっています (過去 5 年間の平均)。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 27%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の-10%から 20%を占めています (投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く)。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。